

町政を問う!

一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 ネット通販で物品購入による経費節約について
- 2 庁内サーバーからクラウドへの置き換えを提案する
- 3 適正な補助金・交付金について
- 4 相続時精算課税制度の対応について
- 5 健康事業の統合プロジェクトの提案

松浪健一郎 議員

- 1 政府が掲げる異次元の少子化対策として、3兆円以上の予算計上が予定され、子育て世帯が優先的に入居出来る住宅を、10年間で30万戸作る目標が掲げられている。これを活用した事業について
- 2 「子ども誰でも通園制度」について

大賀広史 議員

- 1 教育行政と子育て支援
- 2 防犯対策
- 3 空き家対策

森 利夫 議員

- 1 「クリーン鳩山」と「道路ふれあい月間」について
- 2 企業誘致について
- 3 多世代活動交流センターについて

根岸富一郎 議員

- 1 町の国民健康保険の財政について
- 2 鳩山町立幼稚園の給食について
- 3 町のデマンドタクシーについて

中山明美 議員

- 1 河川をきれいに
- 2 安心して集える場（児童館）の設置を
- 3 GIGAスクール構想のさらなる活用を

野田小百合 議員

- 1 子育て支援について
- 2 HPV（子宮頸がん）ワクチンについて
- 3 プラスチックごみの削減について
- 4 住民と共に、『高齢者等に優しい町・街』を考えてみないか

石井計次 議員

- 1 地域共生社会の実現に向けた取り組みについて
- 2 ヤングケアラーについて
- 3 ふるさと納税について

小鷹房義 議員

- 1 鳩山町の史跡、十郎横穴墓群について
- 2 森林総合研究所多摩森林科学園について

日坂和久 議員

- 1 来訪者を増加させるための町の呼び物について
- 2 生活しやすい環境の確保について

清水秀幸 議員

- 1 町の水道事業について
- 2 指定管理者制度について

DX / 補助金

ネット通販で節約を、サーバーはクラウド化

NPO経由で通販も可、クラウド化進行中

決算では投資対効果を評価するのだが、補助金は有効に使われている?



関根 清隆 議員

問 経費節約ができるネット通販について、昨年、町長より前向きに検討したいと伺ったが、検討結果はいかがか。

答 80万円を超える競争入札では町の契約規定・事務決済規定などのため利用不可。随意契約でも複数社の見積書を取り選定、支払い方法などネット通販では難しい。一万円以下なら運用可能。

問 NPO法人を設立し、ネット通販との仲介となり見積書など、町の事務規定に対応すれば可能か。

答 競争入札参加資格者あるいは小規模契約希望者などになれば可能。

問 システム経費・管理・保守、データ保全にクラウド化(図1)が有利。クラウド化を提案する。

答 国のクラウド活用を第一候補とする基本方針に則り、検討している。住民情報、税情報などの基幹システムは既にクラウドに移行済。今年度はメールもクラウド化し、その他のシステムもリリース期間終了後クラウド化する。

<図1>

情報処理会社
データセンター



町役場や
住民の
パソコン
スマホ

することを検討予定。

問 ①夏祭り、②自治協力団体交付金、③シルバー人材センター等への補助金・交付金の適正化と監査はどのようか。

答 ①補助は商工会「納涼夏まつり」のみ。鳩山NTは個別の「地域の祭り」と共同合意されている。②各町内会・連合会の中で理解と合意を得ることが望ましい。③は「法令及び定款に従っている」と監査報告されている。

問 決算後には不用額が出る。人口割で各地域の祭りに補助金は出せないか。

答 自治協力団体交付金は世帯数に応じた設計となっている。

松浪健一郎議員



子育て政策

「子ども誰でも通園制度」の実現は

前向きに対応したい

異次元の少子化対策になるか？

問 政府が掲げる異次元の少子化対策として、年間3兆円以上の予算計上が予定され、子育て世帯が優先的に入居できる住宅を、10年間で30万戸つくる目標が掲げられている。これを活用して、ニュータウンにある、JAXAの跡地をリノベーションして利用できないか。

答 町の結論として、具体的な内容を検討できる段階にはない。まず、町所有の建物ではない。仮に建物を取得するにしても、現在、国庫納付の手續が進められている段階だ。

JAXAに聞いたところ、関東財務局による現地調査が今年3月10日に行われたが、国庫納付の事務手続きは進んでいない。

つまり、いつ頃建物の売却を行うのが、分からない。ただ、国の支援策の具体的な内容が公表された時点で、実現の可能性も含めて、研究したい。



「子ども誰でも通園制度」が待たれる ひばり保育園

問 政府が掲げる異次元の少子化対策として、年間3兆円以上の予算計上が予定され、子育て世帯が優先的に入居できる住宅を、10年間で30万戸つくる目標が掲げられている。これを活用して、ニュータウンにある、JAXAの跡地をリノベーションして利用できないか。

答 町の結論として、具体的な内容を検討できる段階にはない。まず、町所有の建物ではない。仮に建物を取得するにしても、現在、国庫納付の手續が進められている段階だ。

JAXAに聞いたところ、関東財務局による現地調査が今年3月10日に行われたが、国庫納付の事務手続きは進んでいない。

つまり、いつ頃建物の売却を行うのが、分からない。ただ、国の支援策の具体的な内容が公表された時点で、実現の可能性も含めて、研究したい。

大賀 広史議員



空き家対策

特定空き家の件数は

ゼロだが今年度中に指定したい

町が本気で取り組む姿勢を

問 今年度中には町内人口1万2000人台に突入する見込みだ。高校卒業後、家を出る若い世代の流出が町の大きな課題となっている。社会増の取り組みとして最終バス時間の延長を要望する。

答 交渉はしているが、課題も多い。公共交通会議等で検討していく。

問 書さ先進地域の町として、児童の日傘登校(晴雨兼用傘)を提案する。

答 熱中症対策に有効と考える。現時点で一律に日傘を配布することは考えていない。

問 国指定史跡の「かまあと」南比企業跡群とは読みづらく、親しみがわかない。「鳩山のかまあと」としてわかりやすく、当時の「かま」をCG等で再現映像資料を作成して視覚に訴えるような、見て楽しい展示室を作り、復元古代窯や遺跡、拠点をつなげる取り組みを。

答 プロジェクトチームで準備していきたい。

歩道に大きく樹木が繁茂している管理不全の空き家



問 5月頃、侵入窃盗が多発した。住宅用防犯カメラ補助金を要望する。

答 西入間警察署からの情報では、空き家にも金員等があるとの情報から、集団による窃盗が多発しているようだ。対策について、研究していきたい。

問 法改正により、管理不全空家が新設され、町が所有者に指導・勧告ができるようになった。町として本気で取り組んでほしい。現在把握している空き家の件数は。

答 調査・整理をした結果、340件だ。

クリーン鳩山等の今後

高齢化で協力できない場合は

無理のない範囲で協力を願いたい



森 利夫 議員

急激な高齢化で、農村部の地域コミュニティが崩壊寸前だ。早く手を打て！

問 クリーン鳩山、道路月間
毎年、クリーン鳩山は5月、道路ふれあい月間の草刈りは8月の最初に実施される。炎天下での草刈りは、熱中症等危険である。健康を考え時期をずらせないか。

答 各種活動は気候を配慮して、時期をずらすなど、無理のない範囲で対応してほしい。

問 近い将来、少子高齢化の影響で、地域として事業に協力できない状況が想定される。町はどのように対応するのか。

答 繰り返しになるが、無理のない範囲で協力をお願いしたい。

問 地域住民の一部の人は、もう体力的に出られない。町道は町が管理をしてくれないかと、切実な要望がある。今後生活道路の管理をどうするか。

答 生活道路まで町が管理するのは、費用的に困難である。新たな手段を検討する必要がある。

問 多面的機能支援事業補助金を活用して、生活道路等の管理に補助金が



道路ふれあい月間中に、地域の人々で草刈りをした、ため池の現状。

出せないか。

答 農村地域の生活環境の整備や、良好な景観形成に必要な水田や畑、ため池等の除草作業であれば、事業対象となりうる。

問 生活道路の維持管理を続ける上で、適切な制度や補助金はあるか。

答 他の市町村の事例を参考に検討する。

企業誘致（仮宿地内）

問 建築形態規制の変更手続きの状況は。

答 8月9日、県の都市計画審議会で審議され、告示の手続きを進めている。まもなく変更手続きが完了する予定。

河川の管理

河川の中に木が生えているが

今年度、伐採予定である



中山 明美 議員

川の管理は大事です

問 河川管理はどこが行っているか。

答 1級河川は国土交通大臣、2級河川は都道府県知事、準用河川や普通河川・水路は市町村長が管理する。

問 町が浚渫（しゅんせつ）等取り組んでいる河川はあるか。

答 町では令和3年度から国の緊急浚渫推進事業を活用して、準用河川の内川と普通河川の唐沢川において取り組んでいる。特別措置として令和2年度から令和6年度に限り充当率100パーセント、元利償還金に対する交付税措置率70パーセントの地方財政措置のある事業債が活用できる事業となっている。

問 整備の計画はあるか。

答 河川の定期的な巡視を行い、巡視等で発見した河川の支障となる樹木を含めた障害物の撤去や部分的な浚渫、除草業務などを適宜実施して適正な管理に努めていく。

大規模な浚渫工事等は、財政面の負担も課題とな



木が生えている大橋川

ることから、現在活用している緊急浚渫推進事業のような補助事業等があれば、活用できるように注視していく。

問 大橋川の中に木が生えている。災害のときに危険だし、環境もよくない。伐採はできないか。

答 土砂が堆積し樹木が繁茂していることを確認している。今年度、樹木を伐採する予定である。

問 鳩山の熊井付近にも土砂がたまっている場所がある。去年の7月12日の大雨で甚大な被害を受けている。町の管理ではないが、何かできないか。

答 鳩川の浚渫工事の実施については、今後県に要望していく。

※浚渫：河川などに堆積した土砂等を掘り上げる工事のこと



野田小百合 議員

安心して子育てできるよ
う、支援策を充実させたいね

0～2歳児保育料

第2子以降の無償化を

他市町村の状況を考慮し検討

問 鳩山町では第3子以降は無償化しているが、本年度、該当する子どもの数及び町の負担額は。

答 令和5年4月時点で19人。町の負担額は、試算すると約220万円。

問 第2子から無償化した場合、町の負担額は。

答 令和5年4月現在44人。年間約450万円。

問 第2子からの無償化を考えないか。

答 町の財源確保が必要。他市町村の状況なども考慮し、検討する。

プラスチックごみの削減

問 庁内でのマイボトル利用状況は。

答 調査対象職員数が147人、利用率は約70%。

問 公共施設等に水道直結型給水器を設置している自治体は。

答 さいたま市にある事業者が、県内9市と協定を締結し、給水器を設置。マイボトルを推進し、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。

問 公共施設等に給水器の設置を考えないか。

答 設置や維持管理にコ

ストがかかる。導入自治体の状況等を確認し、調査・研究を進めていく。

ベンチの設置

問 設置状況は。

答 高齢者の活動しやすい環境となり、必要な施設であると認識している。

通行の妨げ、設置費用や維持管理も考慮する必要がある。道路上に設置しているのは数箇所のみ。

問 ベンチを設置して、高齢者等も安心して出かけられる優しいまちづくりを考えないか。

答 道路幅員もあるが、材質の工夫など、住民の皆さんと意見交換しながら考えたい。



とちのき通り歩道に設置されたベンチ

国民健康保険税

蕨市など国保法77条で減免しているのでは

財政事情はわからない



根岸富一郎 議員

蕨市では減免が多い

国保財政

問 被保険者の推移は。

答 22年から24年生まれの団塊の世代の被保険者が後期高齢者医療保険へ移行する。特に全体の6割を占める65歳から74歳までの前期高齢者が後期高齢者医療保険に移行している。

問 蕨市など法定外繰入は、国保法77条の減免ではないか。川越、坂戸市、越生町は、国保税の引き上げで対応。蕨市は減免が多い。

答 財政事情はわからないが、歳入不足を補うため、独立採算制の原則から赤字解消すべきだ。

問 県では何年度に、法定外繰入金解消するか。

答 8年度目指して取り組んでいくもの。

幼稚園の給食

問 小学校と同じに考えられない。量とか大きさについて栄養士の指導が必要だ。

答 必要量、個数を減らすなど調整している。給食センター運営委員会などで意見を求める。

デマンドタクシー

問 町外の医療機関に運行できないか。

答 埼玉医大行きは、スクールバスの代替で、例外的な認可。運行については今後も研究する。

問 土日運行は、需要が少ないのではないか。

答 1日平均19・1人、今年度は徐々に増えている。

問 町外の入浴施設に運行できないか。

答 協議を行う際には、近隣の市町等の利害関係者の調整が必要だ。かなりハードルは高い。



医療費気にしないで病院へ行きたいね

石井 計次 議員



求められるニーズの
高い返礼品の開拓

ふるさと納税

町の収支はどのようか

令和4年度、約639万円の赤字

問 ふるさと納税は、返礼品となる特産品の有無で寄附額が左右される仕組み。「制度の存続を含め再考すべき」との声もある。本町の直近3カ年の収支はどのようか。

答 令和2年度の収支は約395万円。令和3年度の収支はマイナス約21万円。令和4年度収支はマイナス約639万円。

問 マイナス収支は、控除された税が他の自治体に流れてしまう。直近の税額控除の推移を伺う。

答 令和3年中は、448人、前年度比45%増の控除額約1460万円。令和4年は約1660万円と、増加傾向にある。

問 寄附の受け入れ額に対する経費割合を伺う。

答 令和4年度の返礼品調達費用約571万円他、運営事業者への委託料など、経費の割合は、49.4%。鳩山町では、国の求める経費割合50%以内の基準を守って実施している。

問 現状、マイナス成長にある。赤字解消には

ニーズの高い返礼品の開拓が求められる。見通しはいかがか。

答 今年度は町内の方によるデニム生地を使ったミニランドセルも始めたが、なかなか大きく返礼品の寄附額には反映できていない状況にある。

問 南比企業跡遺跡（本年、国指定）巡り。返礼品としてはいかがか。

答 鳩山町内を案内し、町内のお店で食事するツアー。返礼品として総務省の基準はクリアできると思う。あとは、南比企業跡群をいかにPRできるかということだ。



鳩山町ふるさと納税返礼品の1例（盛りだくさんセット）

町の財産

十郎横穴墓群は町の財産

鳩山を多くの方に売り出そう

小鷹 房義 議員



古代への
ロマンを感じるなあ

鳩山町の遺跡、十郎横穴墓群について

問 なぜ、何のために使われたのか伺う。

答 十郎横穴墓群は、昭和54年4月25日に、鳩山村の指定史跡として指定された。平成2年と平成22年に発掘調査を実施して、三墓の石棺が確認されている。

問 いつ頃のもののなか。

答 三世紀から七世紀頃の墓の一つであると考えられている。南側に向けて作られていることから現在、坂戸市入西地区を治めていた人物と関わりがあり、一定の地位にある人物の墓ではないかと考えられている。

問 南比企業跡群と関係があるのか伺う。

答 調査では、南比企業跡群との関わりを示すような遺物は確認されていない。十郎横穴墓群の埋葬者が渡来人と仮定するならば、南比企業跡群の成立・運営に関わった人物の墓である可能性は十分考えられる。

森林総合研究所多摩森林

科学園について

問 赤沼実験林の現在の状況について伺う。

答 元は国有林で、昭和9年から林業試験場として試験栽培が開始された。現在は国立研究開発法人森林研究整備機構が所有する森林総合研究所多摩森林科学園赤沼実験林として管理などが行われている。

問 町との共同事業を研究所で行ってみては。

答 現在桜による観光振興に関しては、鳩山高校と連携したハトミライプロジェクトにより、町内の公共施設などにフクシマガクラー等の植樹を実施している。



草が繁茂している林業試験場

日坂 和久 議員



今までの憩の場を活かす
つつ、新しい感覚も取り
入れたエリアに……

農村公園エリア

エリアのあり方を見直しては

役割を終えた施設は条例廃止が必要

問 農村公園を、国指定

史跡と連結させたエリアの位置づけには。

答 役割を終えたような公共施設は設置条例を廃止する必要がある。

問 親水施設が使用不能だ。今後どうする。

答 莫大な改修費用がかかる。何もできない。

問 活性化施設を民間に貸し出し、町が賃借料を得る形態はいかがか。

答 国の政策では、コンセッション方式として可能とされている。

商工会納涼夏まつり

問 打上花火が好評だ。感想を伺う。

答 打上時間を長くすればもっと良くなる。

問 規模拡大で町の呼び物にしたいが、町の協力はいかがか。

答 主催の商工会で検討してもらい、町が協力する姿勢でありたい。

問 経費確保のため、寄附型クラファン等、町の持つノウハウが必要だ。

答 できる範囲で、財政支援・人的支援に取り組

む。

防炎行政無線

問 総務省は「聞こえない」対策として、戸別受信機を推奨しているが。

答 財政的に困難だ。

いじめ防止対策

問 小学校のいじめ認知件数が大幅増だが。

答 4年度は、初期段階の対応強化で、看過されていたものを把握した。

廃棄物不法投棄

問 4年度は件数増だ。民有地の不法投棄廃棄物撤去に補助はあるのか。

答 現制度では補助できない。



整備時の補助金の縛りは
無くなっている農村公園

今後の水道事業

水道代、各地で値上げ・料金改定は

現在、料金改定の予定はない

問 各地で水道料金の値

上げ実施や検討が相次いでいる中、鳩山町の水道料金の見込みと方針について聞きたい。

答 当町の水道料金の見込みとしては、人口減少とともに水需要が減少し、水道料金収入も減少している。2020年策定「第2次水道ビジョン」で示す通り、現状の料金水準を継続する場合、収益収支は2022年ですでに赤字。今後の水道料金は、経費削減と設備更新の工事等を抑制し、適正な資金残高を確保する事業運営に努めることで、現行の料金水準を維持する。現在、料金改定の具体的なプランはない。

問 今後、水道事業の経営環境は厳しさを増す中、水道設備・管路の更新や修繕費に必要な財源確保について、どう賄うのか。

答 これからの施設・設備の更新の財源としては、将来世代に過度な負担とならぬよう自己財源及び事業規模に見合った企業債を組み合わせて確保す

ることを考えている。

問 水道事業の財政問題は他自治体も同様で、水道法改正により、「水道事業広域化」が進められており、鳩山町においても経営基盤の強化と安全な水を安定供給するため、早急に水道事業の広域化を推進するための具体的な行動に入るべきと考えるが、町長の考えは。

答 比企ブロックの場合と毛呂山、越生の広域連携を図った場合についてそれぞれの関係で、具体化に向けての課題はあるが、広域化の検討は必要と考えており、町にとってデメリットにならぬような広域化であれば、前向きに検討したい。

水を大切に使いましょう。

